



NETIS QS-110018-VR

宮城県



施工直後



6ヵ月後

兵庫県



施工直後

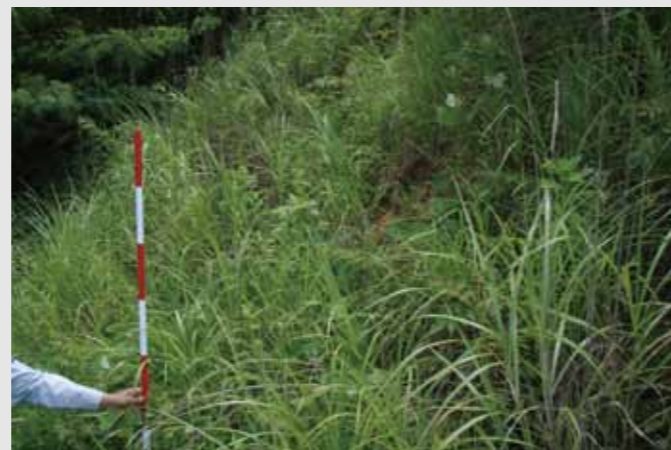


2年4ヵ月後

熊本県



施工中 (凸凹の激しい岩盤法面)



4年6ヵ月後

自然侵入促進工

レミフォレスト工法[®] PAT



 **東興ジオテック株式会社**

本社 / 〒104-0061 東京都中央区銀座 7-12-7
TEL.03-3456-8761
<https://www.toko-geo.co.jp/>



 **東興ジオテック**
TokoGeotech

レミフォレスト工法は、種子が配合されていない高耐久性基盤と、立体構造の種子定着促進ネット（シードキャッチャー）を組み合わせた自然侵入促進工法です。

特長

- ◆ 高耐久性基盤とシードキャッチャーの組み合わせにより岩盤法面に適用可能
- ◆ 自然公園内など生物多様性に配慮する地域に適用可能
- ◆ 無植生状態でも侵食を受けない高耐久性基盤を吹付
- ◆ 高耐久性基盤の断熱効果で地山の風化を抑制
- ◆ 立体構造のシードキャッチャーが飛来種子を効率よく捕捉
- ◆ 施工時期の制約がないので通年施工が可能



レミフォレスト工法で自然侵入した在来種で緑化された法面



従来の植生基材吹付工で導入された外来種（外国産在来種のヨモギ）で緑化された法面

施工概略図



法面に高耐久性基盤を吹付け、その上にシードキャッチャーを張り付けるので、凸凹のある岩盤法面にも適用することができます。

施工手順



施工前



高耐久性基盤の吹付（ラスなし）



シードキャッチャーの展開

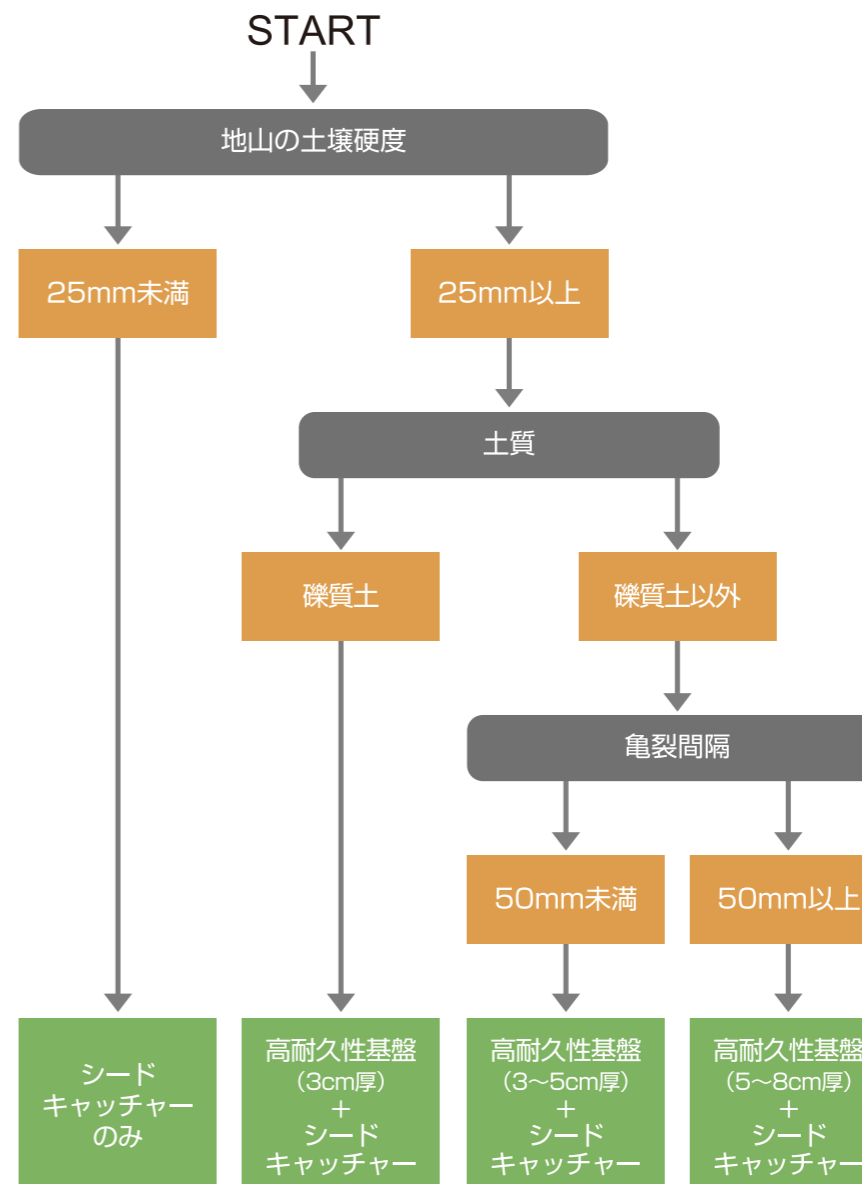


アンカーピンの打設



完成

工法選定フロー



※シードキャッチャーは亀甲金網タイプが標準仕様になります。

※シードキャッチャーには生育基盤2cm厚相当の保水性があるため、高耐久性基盤の吹付厚さは通常の植生工の設計で導かれる厚さから2cm減じた厚さになります。

シードキャッチャーによる種子の捕捉と発芽状況



シードキャッチャーが種子を捕捉
※写真は標準仕様の亀甲金網タイプです。



捕捉された種子が発芽
※写真はバリエーションの樹脂ネットタイプです。



オルガソイル レミコントロール

使用材料

高耐久性基盤の標準配合

材料	規格	使用数量
生育基盤材	オルガソイル	2000ℓ
侵食防止材	レミコントロール	120kg
緩効性肥料	ハイコントロール650	7kg
配合水	用水	適量

(1m²当り)

種子定着促進ネット張工の標準仕様

材料	規格・寸法	使用数量
種子定着促進ネット	シードキャッチャー (亀甲金網タイプ)	120 m ²
主アンカーピン	径16mm、L=400mm	10本
補助アンカーピン	径9mm、L=200mm	400本

(100m²当り)

※シードキャッチャーには、樹脂ネットタイプのバリエーションもあります。
※アンカーピンの規格・寸法と使用数量は、法面勾配、生育基盤の吹付、地山の状態などにより変更する場合があります。